



ハチはどうしてみつを集めるの、集めてどうするの

みつはミツバチなどの食べ物

ミツバチやハナバチなどが、みつを集めるのは、みつが、そのハチの仲間の大切な食べ物だからです。ミツバチが巣を大きくし、仲間を増やしていくため、たくさんの幼虫たちをみつや、みつと花粉を混ぜたえさで、育てています。花がほとんどない冬の間は、集めてあったみつは、巣の中にある全部のハチの食料で、みつを食べて、春まで生きのびます。

花のみつは、はちみつほどあまくない

ミツバチは、花のみつを口から吸いこみ、胃とは別のみつを入れる「みつ胃」にためて巣に運びます。巣では、別なはたらきバチが口移しでみつを受け取り、みつをためている場所に運びます。みつは、ハチが羽で風を起こして水分を蒸発させ、こいものにしてたくわえられます。このみつが、幼虫の世話係のハチによって、えさとしてあたえられます。はたらいっているハチも、このみつを食べています。

みつはエネルギーに、花粉は体をつくるもとになる

みつは、体を動かすエネルギーになり、豆などと同じように、たんぱく質が多い花粉は、ハチの体をつくる材料になります。

(監修・中山 周平)

